
実施課題名：農外企業参入における成立条件と支援方策の解明

農業への参入企業の経営実態からみた経営低迷要因と課題

担当部署名：島根県農技セ・総務企画部

担当者名：山本善久・竹山孝治

協力分担：

予算(期間)：県単（2007～2012年度）

1. 目的

農業の担い手不足や農業産出額が低迷するなかで、地域農業の新たな担い手として農業への企業参入が期待されている。本課題では、農外参入企業の経営の発展過程や地域における経済効果、異業種連携、アグリビジネスへの発展の可能性を探り、企業参入の成立条件と支援策を明らかにする。本報告では、参入企業の経営実績の評価とその傾向を整理し、経営低迷要因及び課題を抽出する。

2. 方法

島根県における参入企業 35 社への聞き取り調査をもとに、①コレスポネンズ分析を用いて経営実績の評価と業種・経過年数の関係及び導入作物・経過年数との関係を明らかにし、②①の結果と低迷要因の関連及び要因について検討した。

3. 結果の概要

- 1) 図1に計画目標と比較した経営実績評価と業種・経過年数の関係を示した。「目標以上」との関係が強いものとして、「農業関連業、6年以上」が該当し、「概ね目標どおり」との関係は、「食品製造業、6年以上」との関係が強い。また、「目標をやや下回る」及び「大幅に目標を下回る」の各評価については、第2軸により判別でき、「目標をやや下回る」は、「食品製造業、5年以下」「造園業、6年以上」「その他、6年以上」「造園業5年以下」が該当する。「大幅に目標を下回る」は、「建設業、6年以上」「建設業、5年以下」が該当し、建設業からの参入企業において目標との乖離が顕著であることが明らかとなった。
- 2) 図2は、計画目標と比較した経営実績評価と導入作物・経過年数の関係を示した。「目標以上」との関係が強い項目として「畜産、6年以上」が、「概ね目標どおり」との関係では「水稻、6年以上」がそれぞれ該当する。また、「目標をやや下回る」との関係においては、「花き、6年以上」が該当し、「概ね目標どおり」及び「目標をやや下回る」との中間的評価として、「野菜、6年以上」「水稻、5年以下」「畜産5年以下」「果樹、5年以下」が位置づけられる。「大幅に目標を下回る」については、「果樹、6年以上」「特用林産、5年以下」「野菜、5年以下」との強い関係が確認できた。
- 3) 表1は、経営低迷要因を経営実績低迷の程度により比較したものである。「目標をやや下回る」においては、「単価が安い」「生産量が少ない」「生産コストが高い」の順となり、「大幅に目標を下回る」では、「生産量が少ない」が最も頻度が高く、次いで「単価が安い」「品質が悪い」「その他」という結果であった。これらのことから、「大幅に目標を下回る」とする企業傾向として、「生産量が少ない」や「品質が悪い」などの栽培技術に関する項目が主な要因として指摘できる。一方で、「目標をやや下回る」とする企業においては、栽培技術に関する事項も高い頻度を示しているものの、「単価が安い」という販売面の事項の頻度がより高い傾向にある。

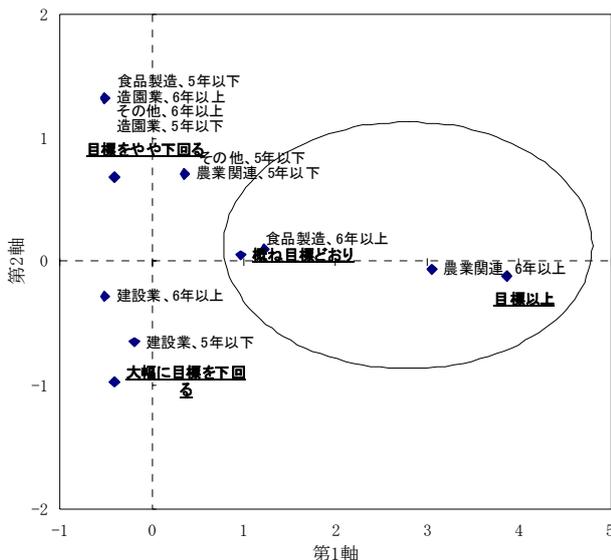


図1 計画目標と比較した経営実績評価と業種・経過年数の関係

- 注:1) 累積寄与率は79%であり、第1軸が55%、第2軸が24%である。
 2) サンプルスコアから、第1軸は「目標以上」「概ね目標どおり」がプラスの値を示し、第2軸は、プラスの値が「目標をやや下回る」、マイナスの値が「大幅に目標を下回る」で分けられる。
 3) ○で囲んだところが「目標以上」「概ね目標どおり」との関係が強い。

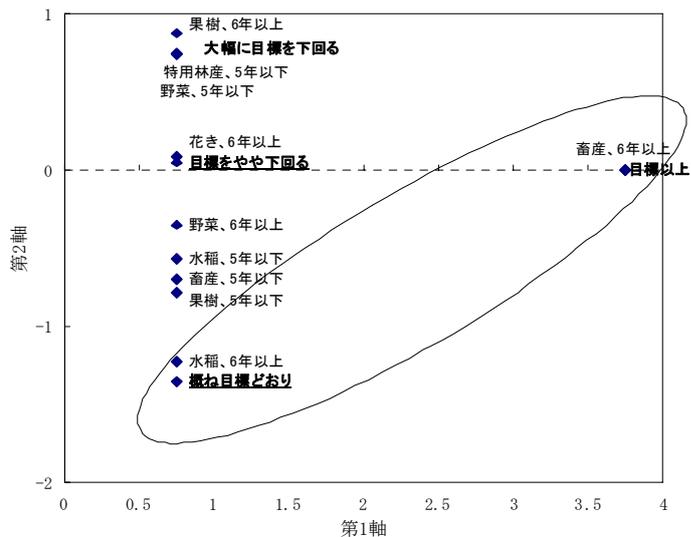


図2 計画目標と比較した経営実績評価と導入作物・経過年数の関係

- 注:1) 累積寄与率は89%であり、第1軸が69%、第2軸が20%である。
 2) サンプルスコアから、第1軸は「目標以上」であるか否かで分けられ、第2軸は、プラスの値を示すほど目標との乖離が大きいことを示す。
 3) ○で囲んだところが「目標以上」「概ね目標どおり」との関係が強い。

表1 経営実績の低迷とその要因

	目標をやや下回る		大幅に目標を下回る	
	頻度	比率	頻度	比率
1 生産量が少ない	7	28%	8	32%
2 単価が安い	8	32%	4	16%
3 生産コストが高い	6	24%	3	12%
4 流通コストが高い	1	4%	1	4%
5 商品が売れない		0%	1	4%
6 品質が悪い		0%	4	16%
7 販売競争が厳しい	1	4%		0%
8 各種規制が厳しい	1	4%		0%
9 その他	1	4%	4	16%
該当企業の傾向	食品製造5年以下 造園業6年以上 その他6年以上 造園業5年以下 花き6年以上		建設業6年以上 建設業5年以下 果樹6年以上 特用林産5年以下 野菜5年以下	

- 注:1) 経営目標と比較した経営実績評価において、「目標をやや下回る」「大幅に目標を下回る」との回答を得た企業から、その要因について複数回答を求めた。
 2) 該当企業の傾向は、図1、2の結果に基づいている。
 3) その他は、「農地の整備費用が掛かる」「技術指導が不十分」「人員不足」「加工能力(技術)不足」「作業受託の減少」などである。
 4) □は、回答頻度の高い上位3位までを示している。

4. 結果の要約

「建設業」「果樹、6年以上」「特用林産、5年以下」「野菜、5年以下」に該当する企業の経営実績が低い傾向にある。また、経営実績が「大幅に目標を下回る」とする企業は、栽培技術が主な低迷要因であり、「目標をやや下回る」とする企業は、販売面の事柄を低迷要因とする傾向がより強くなる。

[キーワード] 農外企業参入、コレスポンデンス分析、経営低迷企業、経営低迷要因

5. 今後の問題点と次年度以降の計画

経営低迷要因に関するより具体的な要因の解明が必要である。

6. 結果の発表、活用等

近畿中国四国農研農業経営研究 18号に投稿中。